

福祉生活病院常任委員会資料

(令和3年5月21日)

【 件 名 】

- 1 保育施設等における新型コロナウイルス感染症対策に係る現地指導について
(子育て王国課) . . . 2
- 2 大学等における新型コロナウイルス感染症感染防止対策の強化について
(総合教育推進課) . . . 3
- 3 公立鳥取環境大学の令和3年度入試実施状況と令和2年度就職活動状況について
(総合教育推進課) . . . 4

子育て・人財局

保育施設等における新型コロナウイルス感染症対策に係る現地指導について

令和3年5月21日
子育て王国課

全国的に新型コロナウイルス感染症が急拡大している状況であり、県内においても感染力が高い変異株が広がるなど、感染し易い状況となっていることを踏まえ、保育施設等における新型コロナウイルス感染症対策の更なる充実を目的に、専門家による現地指導を4月23日から開始しましたので、概要を報告します。

1 現地指導実施概要

(1) 目的

新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策等について、専門家が施設を訪問して、現場の状況を確認した上で個別に助言することにより、施設における気づきを促し、今後の感染予防対策等の充実を図ること。

(2) 日時及び対象施設

4月23日（金）午後1時30分～午後3時
鳥取市立富桑保育園（鳥取市行徳3丁目705-1）

(3) 講師

鳥取県新型コロナウイルス対策専門家チーム 荒川 満枝 教授（鳥取看護大学）

(4) 主な指導・助言内容

- ・各保育室、遊戯室、事務室等を点検し、廊下、手洗い場等の共用部分の消毒や室内の換気ができていることを確認。
- ・昼寝時間の唾液が寝具に付くと感染が広がり易いため、タオルを枕の位置に敷き、毎日交換するよう助言。

(5) 鳥取市立富桑保育園の感想・指導後の対応

- ・自園で行っている消毒方法、飛沫予防、換気方法等の確認ができ、また、具体的なアドバイスを聞くことができて良かった。
- ・今回の助言を基に、消毒のタイミング等を見直し予定。

《現地指導の様子》



○一般的な感染対策について座学で説明



○絵本の消毒方法を具体的に説明

2 今後の予定について

- ・県内の感染状況を踏まえながら、希望のあった全保育施設を対象に、順次、現地指導を実施。
《実施時期》令和3年4月～8月
《実施施設》保育所17園、認定こども園6園、届出保育施設2園、幼稚園1園 計26施設
（参考）県内保育施設等 297施設（保育所、認定こども園、届出保育施設、幼稚園等）
- ・現地指導での助言内容等については、適宜、県内保育施設等へ周知し、感染対策の更なる向上を図る。

大学等における新型コロナウイルス感染症感染防止対策の強化について

令和3年5月21日
総合教育推進課

県内においても感染力の強いウイルスの拡がりが見られ、若い世代での感染拡大が懸念される状況を踏まえ、県内大学等と連携して以下のとおり感染防止対策の強化を図りましたので報告します。

1 県内大学等における学内PCR検査実施体制の整備

体調に不安のある学生等を速やかにPCR検査につなげ、感染者の早期発見による感染拡大防止を図るため、各大学等においてPCR検査（行政検査）を実施できるよう、5月10日（月）に県内大学等にPCR検体容器を配置しました。各大学等では、具体的な実施手順等を整備した上で学生へ周知を行い、運用を開始されます。

【容器配置先】 鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校

【対象学生】 ・発熱、咳、味覚・嗅覚異常などの症状があり、身近な診療・検査機関がない者
・学内で発熱等の体調不良が生じた者 等

【検体採取方法】 本人が自ら容器に唾液を採取（他者への飛沫感染等のリスク小）

【学内検査の流れ】

- ① 大学等は、体調等に不安がある学生からの申し出を受け、保健所に検査実施の適否を確認
- ② 検査実施が適当な場合、大学等は、学生に学内配置の検体容器に検体を採取させ、検査機関へ提出
- ③ 保健所は、検査機関から報告された検査結果を本人及び大学等へ伝達
⇒ 陽性の場合、保健所は入院調整、疫学調査等を実施

2 公立鳥取環境大学施設における新型コロナ感染症対策マニュアルの作成について

公立鳥取環境大学体育館、クラブハウスにおいて4月16日に発生したクラスター事案を踏まえ、同大学と県が連携して「公立鳥取環境大学施設における感染症対策マニュアル（体育館、クラブハウス、学生食堂編）」を作成しました。

（1）マニュアル作成のポイント

- 高等学校等を対象とした「鳥取県運動部活動における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」等をベースに、大学の特性を考慮して作成。
- 県衛生技師等による施設使用実態の点検を実施し、その結果を内容に反映。
- マニュアル対象施設は、クラスター発生施設である体育館、クラブハウスのほか、限られた時間帯に大勢の学生が集中し、飲食を行う学生食堂とした。

<大学の特性を踏まえた内容>

- 学生の主体的な感染防止対策実行が求められることから、学生が実施すべき事項を具体的に記載し、あわせて、大学は学生に対し、マニュアルの内容を周知することを明記した。
(例) ・学生は、アリーナ左右にある扉を開放するなどし、館内の空気がより循環するよう換気する。
・複数の学生が触れる場所については、学生は利用開始時・終了後に消毒を行う。
・大学は、全学生に対し、体育館・クラブハウスを利用するための注意事項として本マニュアルの内容を周知し、その遵守状況を確認する。

<点検結果を踏まえた内容>

- 体育館利用時の換気対策（使用時のアリーナ扉開放等）、クラブハウス内の洗面台への消毒薬（石鹼）の設置等を明記した。
- 学生食堂における消毒薬の設置及び手指消毒の徹底、状況変化を踏まえた啓発物の内容変更及び調理委託業者と連携した感染対策の徹底等を明記した。

（2）マニュアルの横展開

他の大学等においてもマニュアル作成など感染防止対策の参考としていただけるよう、県から各大学等へマニュアルを提供した。

公立鳥取環境大学の令和3年度入試実施状況と令和2年度就職活動状況について

令和3年5月21日
総合教育推進課

このたび、公立鳥取環境大学の令和3年度入試実施状況と令和2年度就職活動状況の結果がまとまりましたので、報告します。

1 入試実施状況

- ・募集人員 300 名に対し、志願者は 1,344 名であり、志願倍率は 4.5 倍（令和2年度は 4.9 倍）となった。また、入学者は 315 名であり、入学定員充足率は 105%（令和2年度は 110.9%）となった。
- ・県内出身の志願者は 201 名であり、令和2年度の 165 名から 36 名増加した。また、入学者に占める県内出身者割合は 21.3%となり、令和2年度の 16.0%から、大きく増加した。
- ・県内入学者割合が増加した要因は、新たに創設した県内高校限定の推薦入試の効果と考えられるが、募集定員を満たしていない区分もあり、今後、より一層、県内高校への働きかけに力を入れる必要がある。

（新たな推薦入試）

- ・学校推薦型選抜Ⅱ型（県内高校出身者に限定。大学入学共通テストを活用。両学部対象）
- ・学校推薦型選抜Ⅲ型（県内高校出身者に限定。プレゼンテーション等で選抜。環境学部のみ対象）
- ・学校推薦型選抜Ⅱ型について、両学部とも募集定員を満たさなかった。
⇒ 環境学部：定員 10 名に対し入学者 2 名、 経営学部：定員 10 名に対し入学者 7 名

学 部 名	環境学部		経営学部		合 計	
	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度
募 集 人 員 (A)	150 名	138 名	150 名	138 名	300 名	276 名
志 願 者 数 (B)	556 名	555 名	788 名	805 名	1,344 名	1,360 名
うち県内 (B')	(62 名)	(41 名)	(139 名)	(124 名)	(201 名)	(165 名)
県内割合 (B' / B)	(11.2%)	(7.4%)	(17.6%)	(15.4%)	(15.0%)	(12.1%)
志 願 倍 率 (B / A)	3.7 倍	4.0 倍	5.3 倍	5.8 倍	4.5 倍	4.9 倍
入 学 者 数 (C)	159 名	152 名	156 名	154 名	315 名	306 名
うち県内 (C')	(26 名)	(10 名)	(41 名)	(39 名)	(67 名)	(49 名)
県内割合 (C' / C)	(16.4%)	(6.6%)	(26.3%)	(25.3%)	(21.3%)	(16.0%)

<参考>他の県内大学の入試実施状況

大 学 名	鳥取大学		鳥取看護大学		鳥取短期大学	
	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度
募 集 人 員 (A)	1,139 名	1,139 名	80 名	80 名	300 名	300 名
志 願 者 数 (B)	4,535 名	4,740 名	144 名	186 名	342 名	346 名
うち県内 (B')	(775 名)	(792 名)	(94 名)	(134 名)	(290 名)	(290 名)
県内割合 (B' / B)	(17.1%)	(16.7%)	(65.3%)	(72.0%)	(84.8%)	(83.8%)
志 願 倍 率 (B / A)	4.0 倍	4.2 倍	1.8 倍	2.3 倍	1.1 倍	1.2 倍
入 学 者 数 (C)	1,158 名	1,178 名	78 名	87 名	278 名	289 名
うち県内 (C')	(208 名)	(216 名)	(56 名)	(67 名)	(243 名)	(248 名)
県内割合 (C' / C)	(18.0%)	(18.3%)	(71.8%)	(77.0%)	(87.4%)	(85.8%)

2 就職活動状況

- 令和2年度卒業生の就職率は98.4%で、コロナ禍の中ではあったが前年度並みの就職率となった（令和元年度98.7%）。一方、県内企業就職率は14.3%と、昨年度の23.4%から大きく低下した。
- 低下の一要因として、環境大学が実施した令和2年度卒業生アンケート等から、WEB面接の導入による選択肢が多様化し、多くの県外企業とのコンタクトが容易になったことなど、新型コロナウイルスの影響があるものと考えられる。
- 今後、とっとりインターンシップ等で県内企業との接点を増やしたり、新たな取組として、学内に県内企業や鳥取県の魅力、暮らしやすさを紹介するブースを常設したり、低学年（1、2年生）の授業（必須科目：キャリアデザイン）で、環境大学出身の鳥取移住者が鳥取の魅力を講話するといった取組もを行い、県内就職率30%の目標の達成を目指す。

大 学 名	公立鳥取環境大学 (3/31 現在)		参 考					
			鳥取大学 (5/1 現在)		鳥取短期大学 (4/30 現在)		鳥取看護大学 (4/30 現在)	
年 度	R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度	R2 年度	R1 年度
卒 業 者 (A)	282 名	243 名	1,113 名	1,112 名	253 名	264 名	89 名	69 名
就 職 希 望 者 (B)	248 名	225 名	621 名	679 名	227 名	236 名	89 名	64 名
うち県内出身者	(37 名)	(35 名)	(140 名)	(132 名)	(187 名)	(210 名)	(73 名)	(46 名)
内 定 者 (C)	244 名	222 名	614 名	668 名	226 名	235 名	89 名	64 名
うち県内企業 (C')	(35 名)	(52 名)	(118 名)	(138 名)	(186 名)	(193 名)	(76 名)	(55 名)
県内割合 (C' /C)	14.3%	23.4%	19.2%	20.7%	82.3%	82.1%	85.4%	85.9%
内 定 率 (C/B)	98.4%	98.7%	98.9%	98.4%	99.6%	99.6%	100%	100%

3 公立化以降の県内入学率、県内就職率の状況

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
県内入学率	23.6%	21.7%	12.0%	18.9%	14.1%	14.7%	14.8%	15.7%	16.0%	21.3%
県内就職率	46.4%	42.0%	32.1%	21.6%	22.9%	10.1%	23.7%	23.4%	14.3%	



※H27 に公立化後最初の卒業生が就職

参考：公立鳥取環境大学の第2期中期目標(H30年度～R5年度) …… 県内就職率30%以上

〃

…… 県内入学率25%以上